

1 源実朝公御首塚

1219年(建保7)、鎌倉幕府三代将軍の実朝公は鶴岡八幡宮で甥の公暁に暗殺された。御首を得た公暁は三浦義村の家来に討たれ、御首の行方も不明であったが同家来の武常晴らが見つけ、この地に運び埋葬し供養をしたといわれている。



五輪塔。当初は木造だったが33回忌に石造に作り替えられた。

源右大府歌

親の子を思ふかなや
あはれなるかなや
すだにも
けだもの
物はぬ四方の



実朝公の歌碑

実朝公はすぐれた歌人として有名であった。金塊和歌集におさめられた歌碑が建つ。書は実朝の研究家・歌人佐佐木信綱による。

2 大聖山金剛寺

暗殺された、実朝公の御首は鎌倉より運ばれ、この寺に持ち込まれた。そして近くに埋葬し、供養の木造の五輪の塔を建て、寺名も実朝公の法号金剛寺殿にちなみ、金剛寺とした。



源実朝像

本堂に安置されている。

右、当初の五輪塔レプリカ。現在、実物は鎌倉市国宝館に保管されている。



※通常は非公開



境内は非常に広く、本堂、阿弥陀堂、半僧坊が建ち、多くの石仏も立ち並んでいる。山門の左手の大きな釜からは湧水が出ている。源氏家紋の笹竜胆が屋根に、輝いている。

3 東田原中丸遺跡(田原ふるさと公園)

古墳時代の集落跡や鎌倉時代の武士の館跡と考えられる遺構が発見された。現在は田原ふるさと公園となっている。



鎌倉時代によく使われていた「かわらけ」という土器も多く出土した。

田原ふるさと公園



そば処 東雲



新鮮な野菜の直売所

朝採れ野菜などの直売所があり、園内のそば処では水車小屋で石臼製粉したそば粉の手打ちそばが楽しめる。秦野市東田原999 ☎0463-84-1281月曜休(祝日の場合は翌日)

実朝まつり 毎年11月23日開催 田原ふるさと公園周辺



源実朝公の供養式や稚児行列が行われ地元の物産が立ち並ぶ。

北条義時 鎌倉

~13人の重臣~

秦野市観光協会 0463-82-8833 2022.2
参考資料 秦野ふるさとめぐり 秦野市史研究3号

6 頼朝はん

三廻部地区の田畑の中「頼朝はん」と呼ばれる石碑があり「武皇嘯源大居士」(ぶこうしゅくげんだいこじ)の戒名らしき文字と頼朝公の亡くなった年が記されている。



コミュニティバス停「東耕地」と「菖蒲荘前」間、北側の田畑の中にある。

4 雨沼山 幡松院 西光寺

和田義盛公の側室がこの地にて、和田合戦で討たれた亡夫の菩提のため阿弥陀如来を持ってきて堂を建立したのが始まりといわれている。



和田家五輪塔 観応2年(1351)

5 八声橋

非業の死を遂げた源実朝公の御首を、三浦の武士たちが秦野の郷に運ぶ道中の夜のここと、村はずれの清流の橋の下で休んでいた。すると夜明けを知らせるニワトリの鳴き声が8回ひびきわたり、目的地に急がせたという伝説が残っている。



7 孫佛山 観音院

鎌倉時代初期には比叡山の末寺であった。戦国時代、三廻部村の金沢というところから砂金が見つかり鉱夫が集まり大変栄えていたと伝わる。



頼朝座像 かつて「頼朝はん」にあったものが寺に安置されている。



曾我兄弟 仇討の願文 兄の十郎の仇を討つために、柳川不動院の「おぶどうさま」へ捧げたとされる願文が、観音院に保管されている。 ※通常は非公開

8 柳川山 不動院

本尊は、体が真っ白な珍しい不動尊。曾我兄弟が父の仇を討つために祈願に通ったといわれる。



不動堂

江戸時代には本堂、庫裡もあったが、明治時代に焼失してしまい、不動堂だけが残った。不動堂には文化6年(1809)の棟札がある。

みくるべ(三廻部)のいわれ 頼朝公の妻政子が安産祈願のため大きなお腹で三廻部を訪れ、一晩に村のすみからすみまで3回まわることにした。しかし3回目の途中、急な坂道で夜が明けてしまった。それでも、あきらめずに歩き続けたところ腹がへこみ、腰巻が落ちてしまったが、政子はあることなく腰巻の紐を結びなおした。そんな出来事から集落の名が三廻部となった話も伝わる。今でも夜が明けた急坂を「赤坂(明坂)」、腰巻の場所を「腰巻」と呼んでいるという。